

安いニッポン

㊦

パウダースノーで知られる北海道のニセコ地域。中心部の飲食店で働く日本人女性は「家賃が高くなり、郊外から車で1時間かけて通っているの」とこぼす。スキーリゾートへのインバウンド（訪日外国人）の増加で地価高騰が止まらないからだ。北海道がまとめた基準地

暴騰ニセコ、それでも世界31位

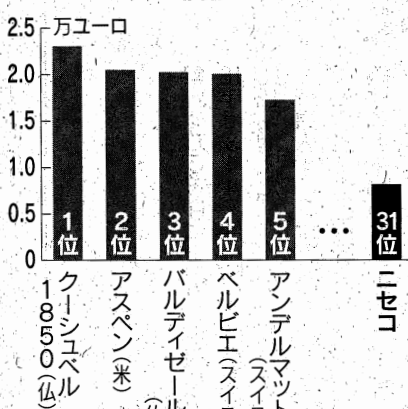
外需頼みの成長にもろさ

価によると、ニセコがある倶知安町樺山地区の地点の上昇率は2019年に66.7%と4年連続で全国トップとなった。地方の町では異例の暴騰だ。

首位より6割安く

それでもグローバルではまだ割安だ。スキーリゾートに詳しい英不動産サウイクルズによると、19年10月の1平方メートルあたりの住宅価格でニセコは81339円（98万円）と世界で31位。2万3030円（276万円）

世界のスキーリゾートと比べるとニセコの住宅価格は安い



(注)1平方メートルあたりの住宅価格、英サウイクルズ調べ

だった首位の仏クレーンシュベルのサンモリッツや仏シャモルより6割以上も安い。ニセコは物件投資利回り「いい時で7%」（現

海外マネーの流入が押し上げる財やサービスの価格。日本人には割高だが、

企業にも食指

「いまや「企業」も例外ではない。ある中国のファンドはこれほど、電子部品を手がける関東地方の中小企業を買収した。関係者は「入札で他の買い手が付かず、工場も含めて結果的に安く手に入った」と打ち明ける。レコフ（東京・千代田）8千人足らずの北海道白糠町。山あいの茶路小中学校では教室から元気な中国語が聞こえてくる。同町では保育園から高校までの公立学校で中国語を教えている。漁業のほかに目立った産業がない地域だが、鉦路や札幌まで足を延ばせば、水産加工会社などの就労者や観光客で中国人があふれ

だ。いまや「企業」も例外ではない。ある中国のファンドはこれほど、電子部品を手がける関東地方の中小企業を買収した。関係者は「入札で他の買い手が付かず、工場も含めて結果的に安く手に入った」と打ち明ける。レコフ（東京・千代田）8千人足らずの北海道白糠町。山あいの茶路小中学校では教室から元気な中国語が聞こえてくる。同町では保育園から高校までの公立学校で中国語を教えている。漁業のほかに目立った産業がない地域だが、鉦路や札幌まで足を延ばせば、水産加工会社などの就労者や観光客で中国人があふれ

る。「言葉ができれば将来の仕事の幅も広がる」（白糠町教育委員会）だが今後も日本が買われる外需に頼る成長もひとつの戦略。地方にはグローバル化のきっかけでもある。「おいしいは何て言う？」客の落ち込みを理由に業績を下方修正した。板倉正・取締役常務執行役員は「インバウンド需要は頭打ち」と話す。S M B C日興証券の宮前耕也氏は「インバウンドへの過度な経済依存は国際情勢や為替変動がリスクになる」と指摘する。「安

さ」頼みの成長はもろさもはらむ。規制緩和などの国内改革が停滞していないか点検してもいい時期だ。